

2013-2022

# 川根本町観光振興計画

雄大な自然が癒す ふるさとのまち 川根本町  
～新緑・紅葉・大井川・お茶と温泉・SLのまち～



平成25年3月  
川根本町



## ごあいさつ

近年では、人口減少や少子高齢化など、本町を取り巻く状況は厳しくなっています。こうした中、町民の皆様だけでなく、町外から訪れる来訪者が魅力を感じ、交流人口の増加を図っていくことが大切です。

観光は本町において主要産業の一つであり、まちづくりそのものです。晴れて昨年、寸又峡温泉が開湯 50 周年を迎え、様々な記念イベントや関連行事が執り行われ、多くの観光客で賑わいました。しかし、寸又峡も最盛期に比べれば、旅館や商店は減少している状況です。

近年では、旅行形態の個人化や小グループ化、旅行商品の低価格化、体験型観光等の旅行ニーズの多様化など、観光客の嗜好が変化する中で、まちの魅力を活かしながら新たな挑戦を始めなければなりません。これまで本町では、観光振興のため、総合計画を基にさまざまな施策を実施してきましたが、観光動向を先読みし、新たな波を起こそうという気構えがない限り、多様な観光客のニーズへの対応は難しいと考えます。そのため、新たにまちの観光の指針となるよう観光振興計画を策定し、まずは地域の声を集め、共に取り組めるような合意形成と協力体制を築いていきたいと思えます。また、観光を起点に各種産業の活性化を図り、地域産業の元気を取り戻すとともに、新たな雇用を生み出すことで、町の活力の向上や投資意欲を引き出せる環境づくりを目指します。

観光は元より、安らぎや自己を見つめ直すための行為と考えるなら、まちの魅力を最大限に、本町を満喫していただくための仕掛け作りが大切だと考えます。日常の時間の流れとは異なる、川根時間を楽しみ、「江戸しぐさ」ならぬ「川根しぐさ」を起こし、品格のある<sup>むら</sup>邑づくりに町民の皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、この計画の策定にあたり、川根本町商工観光委員をはじめ、各種調査などにご協力いただいたすべての皆様に心から感謝いたします。



平成25年3月

川根本町長 佐藤 公敏

